HP－評第１号―０５

構造評定委員会　申請図書作成要領

－　目　次　－

§１．提出図書一覧　……　１
§２．性能評価用提出図書　作成要領　……　２
§３．別添　作成要領
　　別添様式　……　５
§４．別表　作成要領
　　別表様式　……　７
§５．追加検討資料　作成要領　……　９
§６．設計変更の概要説明書　作成要領……　１０
　　設計変更の説明書様式　……　１２
§７．構造計算書　作成要領　……　１３
§８．最終版図書　作成要領　……　１４

HOUSE PLUS　ハウスプラス住宅保証株式会社

§１．提出資料一覧

構造評定委員会での性能評価申請から評価完了までの提出資料を一覧します

	ご提出図書	部数	書式	備　考
1	・事前相談票	１部	ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞにて掲載	
2	・構造計算書一式	１部		電算プログラムの出力一式をご提出下さい。 チェックリストを提出してください。
3	・性能評価申請書	１部	HP－評第 1 号様式	
4	・性能評価用提出図書（委員会用）	4※部		委員会資料 ※部数が増える場合は事前連絡いたします
5	・別添の（１）建築物概要及び構造概要、（２）構造説明図	4※部	HP－評第 6 号様式	委員会資料
	・別表、付表１、付表２、(付表３)別添	4※部	HP－評第 7～9 号様式	委員会資料 注)免震の場合 HP－評第 10 号様式も含む。
6	・指摘事項回答書及び追加検討資料	4※部 又は ﾃﾞｰﾀ (PDF)	HP－評第 14 号様式	追加資料が必要となる場合は併せてご用意下さい。 注)2 回目の委員会が開催される場合は、資料として 4※部必要となります。
7	・構造計算書指摘事項回答書及び修正資料	１部		
8	・最終版図書（製本用）	＊部		必要部数＋1 部(弊社用) １部は弊社印を押印し、お返しいたします。

§２．性能評価用提出図書　作成要領

１．「性能評価用提出図書」の体裁について

（１）Ａ４版見開き製本として頂き、１冊にまとめたものとして下さい。
　　（図面等でＡ３版となるものは織り込んで下さい。）

（２）表紙及び背表紙には下記の事項を記入して下さい。
　　①件　　名（建築物名称）
　　②申請年月日（受付委員会の日付）
　　③申 請 者 名（会社名）
　　④設 計 者 名（会社名）

２．「性能評価用提出図書」の目次及び構成について

下記に示す目次及び構成を基本として下さい。なお、「別添」と「別表」の詳細につきましては、本要領の§３及び§４を参照して下さい。

性能評価用提出図書の目次及び構成
◇　性能評価申請（写）　（HP-評第１号様式） ◇　パース又は模型写真 ◇　別添（超高層建築物に係る構造方法） 　（１）建築物概要及び構造概要（HP-評第６号様式） ◇　別表 　・建築基準法第２０条第１項第一号の認定（同条ニ号ロ、三号ロ及び四号ロを含む）に係る性能評価の内容（HP-評第７号様式） 　・付表１　構造検討概要書（HP-評第８号様式） 　・付表２　振動特性概要書（HP-評第９号様式） 　・付表３　設備・維持管理概要（HP-評第10号様式）（注：免震構造の場合のみ） ◇　目次 （１）建築設計概要書 　１－１　一般事項 　　①建物名称　②建築場所　③地域・地区　④用途　⑤建築主 　　⑥設計・監理者名（一般、構造）　⑦施工者名　等 　１－２　建築物概要 　　①敷地面積　②建築面積　③延べ面積　④基準階面積　⑤容積率 　　⑥階数（地上、地下、塔屋） 　　⑦高さ関係 　　（軒の高さ、建築物の高さ、最高部高さ、基礎底深さ、杭支持深さ） 　　⑧基準階階高 　　⑨構造種別（基礎、骨組、床、耐震壁、ブレース、外壁、内壁等） 　　⑩主要設備概要（空調、衛生、電気、エレベータ等）等 　１－３　建築計画概要 　　①敷地周辺環境　②全体計画概要等 　１－４　所要図面 　　①配置図　②各階平面図　③主要立面図　④主要断面図　⑤主要矩計図

⑥雑詳細図（屋根ふき材、外装材、帳壁、非耐力壁、塔屋階の目隠し壁、
玄関キャノピー等）

（２）構造計画概要書

主体構造及び架構形式、耐震・耐風設計方針、地盤及び建物支持条件、断面設計方針、施工計画と構造計画上の関係の概要　等

（３）構造設計概要

①使用材料及び許容応力度

②固定荷重、積載荷重、積雪荷重及びその他の荷重に関する検討（固定荷重、積載荷重、積雪荷重等に関する構造計算書）

③設計用層せん断力の検討（層せん断力の分布形等）

④応力解析概要（基本仮定記載）

⑤応力図（全体架構・地下部・基礎・杭）

⑥部材設計（部材断面、継手、仕口等の設計）

⑦地下階及び基礎の設計

⑧耐震設計に関する検討（建築物に作用する地震力に関する構造計算書）

⑨耐風設計に関する検討（建築物に作用する風圧力に関する構造計算書）

⑩風圧、地震等に対する屋根ふき材、外装材（ガラスを含む）等の検討

⑪土砂災害特別警戒区域内における居室を有する建築物にあっては、土砂災害に対する検討　等

（４）時刻歴応答解析概要

①時刻歴応答解析の方針（解析手法、使用プログラム）

②採用地震動（地震動の選定・作成方法等）

③応答解析結果（応答最大加速度分布、応答最大層せん断力分布、応答最大転倒モーメント分布、応答最大層間変位（変形角）分布、応答最大塑性率分布及び構造計算書）等

（５）構造図

①基礎伏図　②各階略伏図　③軸組図　④部材断面表　⑤部材詳細図

⑥その他の特殊設計部分構造図　等

（６）地盤調査概要

①地形・地質の概要　②ボーリング（地盤）調査位置図

③ボーリング結果・柱状図（Ｎ値を含む地盤断面図に杭姿図を追記したもの）

④支持地盤の耐力判定資料

⑤その他必要に応じて、地下水位測定(季節変動の考察を含む)、孔内水平載荷試験・室内土質試験・ＰＳ検層・常時微動測定結果等に関する資料　等

（７）その他

７－１　施工計画概要（特殊な施工計画を要する建築物の場合）

①施工の基本方針

②施工管理計画（品質規準類及び管理体制）及び工法概要　等

７－２　実験及び調査報告書

実験又は特別な調査に基づいて構造計算及び検討を行った場合はその報告書等

７－３　特殊な材料の概要

①建築基準法第３７条第二号の規定により認定された材料の場合、その認定書

の写し（別添を含む）

②指定建築材料以外の材料の場合、その品質及び品質管理

7－4　特殊な装置の概要及び維持管理概要

①特殊な装置（免震層、制震部材、アクティブ制震装置、融雪装置等）の概要

②申請物件における特殊な材料及び特殊な装置に関する維持管理体制及び日常点検、定期点検、臨時点検項目及び判断基準等

7－5　仕様規定に適合しない構造方法に対する検討書

耐力及び靭性その他の建築物の構造特性に影響する力学特性値（当該部分及びその周囲の接合の実況に応じた加力試験、当該部分を構成するそれぞれの要素の剛性、靭性その他の力学的特性値及び要素相互の接合の実況に応じた力及び変形の釣合いに基づく構造計算）等

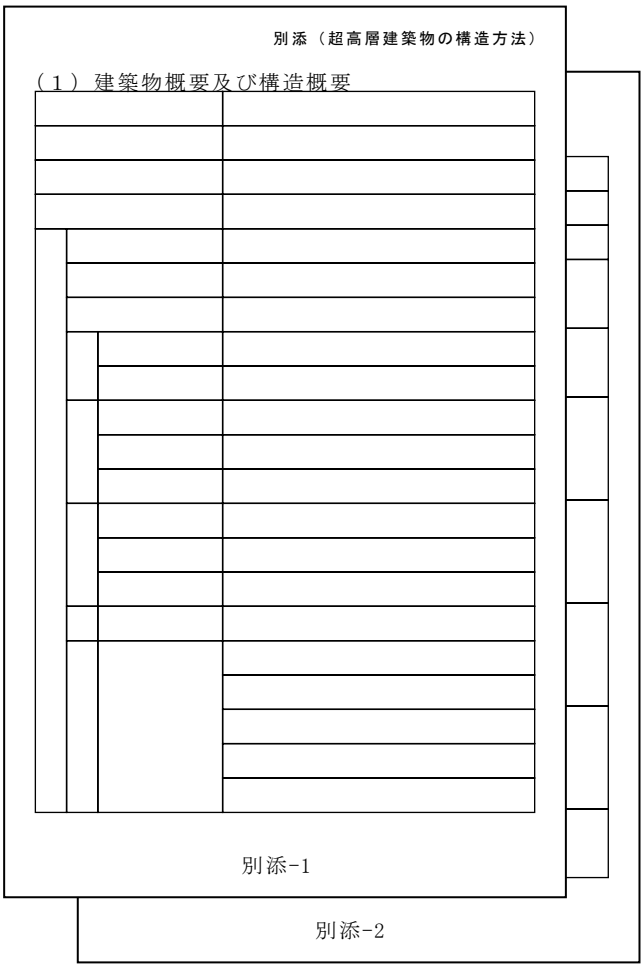
7－6　「平成 19 年国土交通省告示第８３５号、確認審査に関する指針」に基づき下記の項目を考慮して構造設計概要書に記載くださるようお願い申しあげます

- ■ 代表的な応力図及び検定比図
- ■ 代表的な柱・梁の断面算定結果（柱梁接合部、耐力壁、ブレース、柱脚等を含む）
- ■ 代表的な（最も危険側）小梁、床板の断面検定結果
- ■ 基礎の応力図及び検定比図、断面検定結果
- ■ 地下外壁の土圧に対する断面検定結果
- ■ 層の塑性率一覧、代表的な塑性率図
- ■ 代表的な（最も危険側）梁、小梁、床板の断面検定結果（たわみ）
- ■ 屋根ふき材、外装材、帳壁の暴風及び地震に対する変形追従性
- ■ 代表的な（最も危険側）屋根ふき材、外装材、帳壁の断面検定結果
- ■ 雑詳細図（屋根ふき材、特定天井、外装材、帳壁、非耐力壁、塔屋階の目隠し壁、
  玄関キャノピー等）

（８）設計変更の概要説明書（設計変更申請時のみ）

設計変更の説明書、既性能評価の構造計画に与える影響、構造安全性の検証方法、検証結果の評価、変更図面（変更前、変更後）　等

§３．別添　作成要領



・別添は
　（1）建築物概要及び構造概要
　（2）構造説明図
で構成されます。

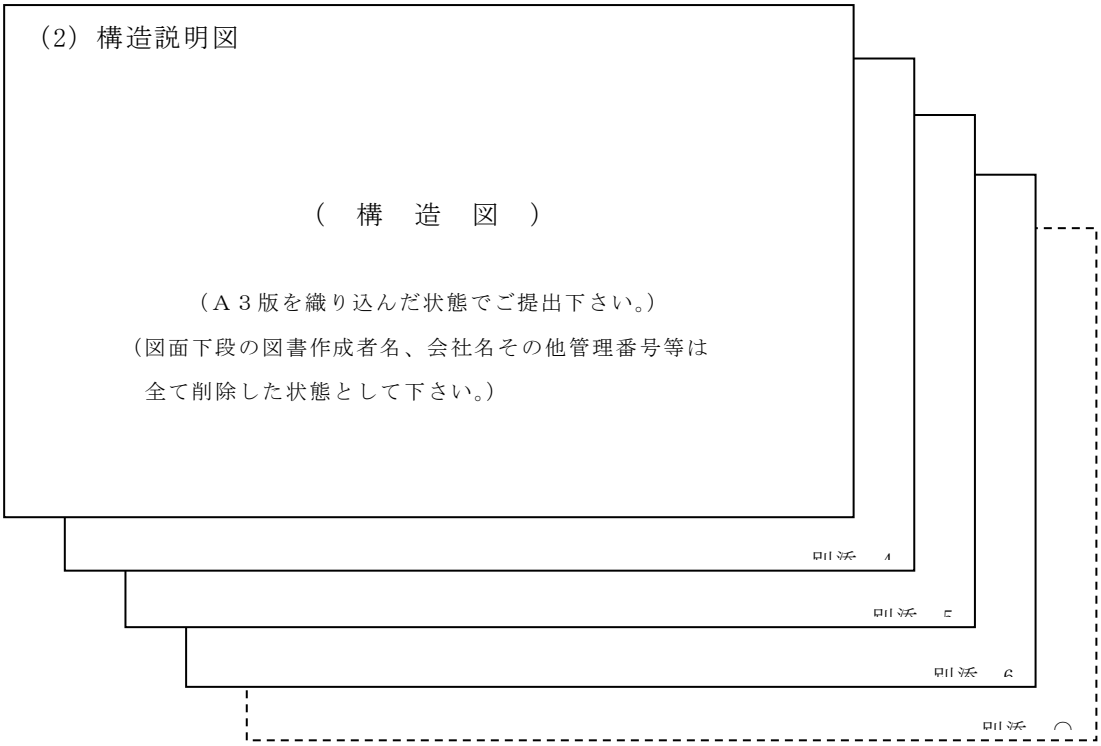
・ページ右上のヘッダーは、
①超高層建築物の構造方法
②建築基準法第 20 条第二号に掲げる建築物の構造方法
③建築基準法第 20 条第三号に掲げる建築物の構造方法
④建築基準法第 20 条第四号に掲げる建築物の構造方法
の内、建築物の規模に合わせて適宜選択してください。

・ページ打ちは、以上の２つを通しページにて、
　別添－1，別添－2，別添－3，・・・
として下さい。

・用紙サイズは A4 版（(2) 構造説明図は A3 版でも可能）として下さい。

・報告委員会後に性能評価書の原紙としてご提出頂く際は、ホッチキス留め等は行わない状態でご用意下さい。

・別添の構成についてはｐ４に、様式についてはｐ５～７に示すとおりです。



構造説明図

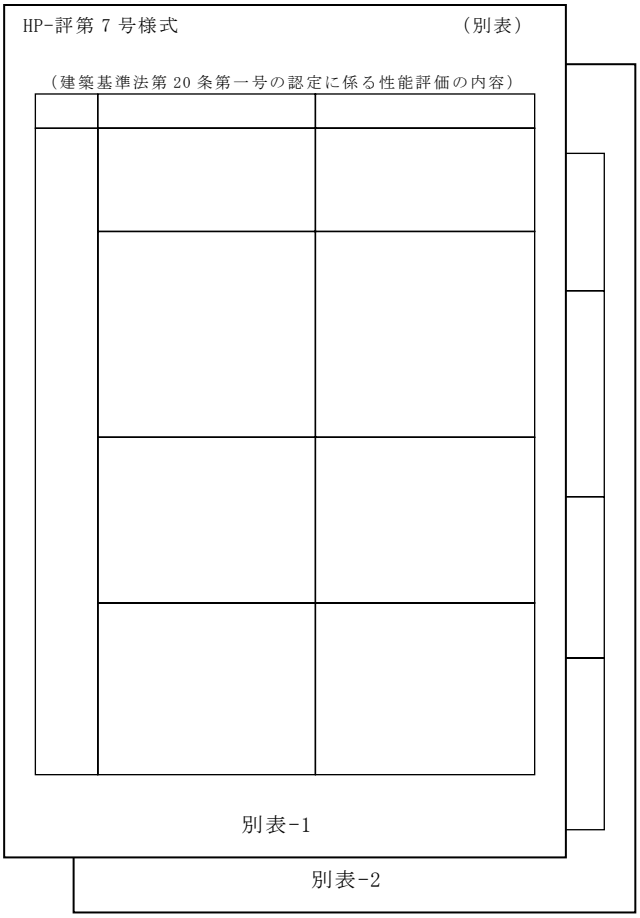
・「性能評価用提出図書」の主要構造図の図面一式を入れて下さい。
（意匠系の図面は不要です。また、用紙サイズはA3でも構いません。）

・ページは「別途(1)建築物概要及び構造概要」からの通しページとしてください。

・図面下段等に記載されている図面作成者名、会社名その他管理番号等は全て削除した状態として下さい。
　また、性能評価の件名と、図面に記載されている件名が一致していない場合は、件名を修正していただくか、削除していただきますようお願いいたします。
（図面名称や縮尺については、消さずに残してください。）

ページの打ち方は、下記のとおり「別添－1、2、3、・」として下さい。
↓
別添－○

§４．別表　作成要領



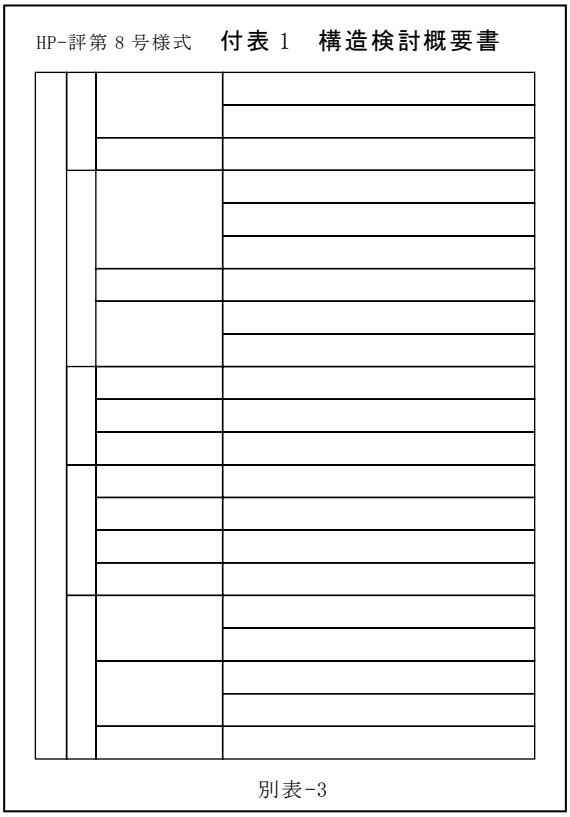
・（別表）は、
　・建築基準法第 20 条第一号（同条第二号ロ、三号ロ及び四号ロを含む）の認定に係る性能評価の内容
　・付表１
　・付表２
　・付表３（免震の場合のみ）
　で構成されます。

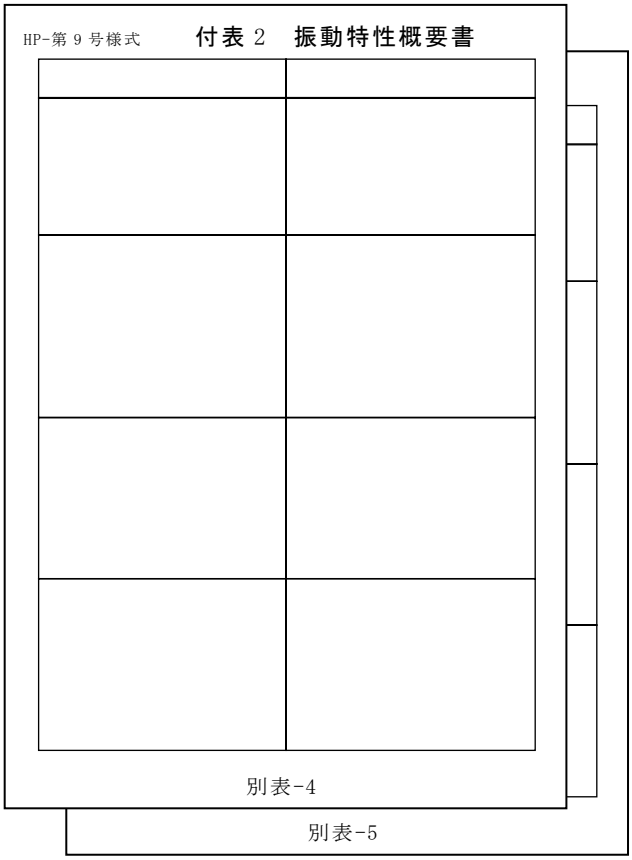
・ページ打ちは、以上の４つを通しページで、
　別表－1，別表－2，別表－3，・・
　として下さい。

・用紙サイズは A4 版として下さい。

・報告委員会後に性能評価書の原紙としてご提出頂く際は、ホッチキス留め等は行わない状態でご用意下さい。

・別表の構成については、p 12～13 に、様式については、p 14～25 に示すとおりです。





HP-評第 10 号様式 **付表 3 設備･維持管理概要**

（免震構造の場合にのみ作成してください）

別表-6

概要書

概要書-○

概要書ー○

概要書-○

概要書－○

・付表以降に、性能評価申請図書の内（１）建築設計概要書から（７）その他の内容を「概要書」として添付して下さい。

・ページ打ちは、通しページで、概要書－1，概要書－2，概要書 3，・・として下さい。

・用紙サイズは A4 版として下さい。

§５．追加検討資料作成要領

以下の項目についてＡ４版で一冊にまとめて下さい。

１．表　紙（可能であれば背表紙にも同じものを記入して下さい。）
　①委員会名、②件名、③資料名、④日付（報告委員会の日付）、
　⑤申請者名・設計者名（会社名）
２．目　次
３．追加検討項目一覧表（下記の書式例を参考に A4 横使いにて作成して下さい。）
４．追加検討資料
５．訂正事項一覧表（下記の書式例を参考に A4 横使いにて作成して下さい）
６．訂正事項（申請時の構造設計概要書からの訂正箇所が分かるようにして下さい。）
７．指摘事項回答書（委員会、部会）

追加検討項目一覧表（書式例）

検討項目	検討内容	検討結果	変更内容	ページ
追加検討○ 外装材設計用風荷重	外装材設計用風荷重を示した。またバルコニー側のハイサッシを検討した。	外装材の風荷重を告示に基づいて算定し、バルコニー側のサッシを複層ガラスで設計した。		追○-追○

訂正事項一覧表（書式例）

ページ	箇所	現状	訂正及び追加内容	
P○-○	構造図○	D 断面 FS3 の t=2900 の範囲：AY3 側から 1000	訂正	D 断面 FS3 の t=2900 の範囲：AY3 側から 1800 に修正（t=2900 の範囲拡大）

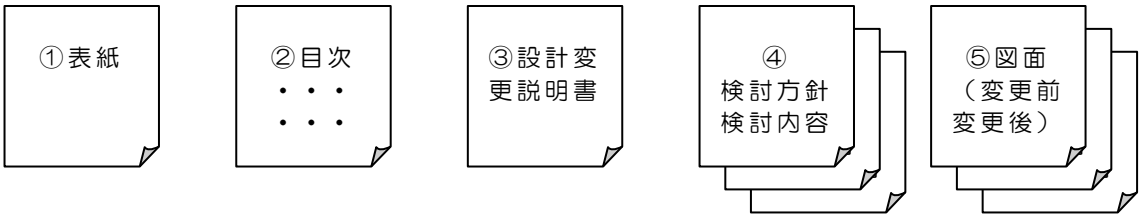
§６．設計変更の概要説明書　作成要領

以下の項目についてＡ４版で一冊にまとめて下さい。

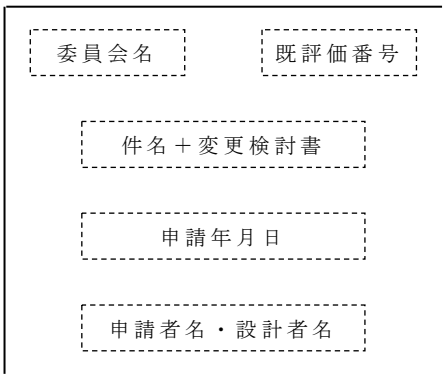
１．表　紙（可能であれば背表紙にも同じものを記入して下さい。）
　①委員会名、②件名、③資料名、④日付（部会の日付）、
　⑤申請者名・設計者名（会社名）
２．目　次
３．設計変更の説明書（下記の書式例を参考に A4 縦使いにて作成して下さい。）
４．検討方針及び検討内容
　①検討方針
　検討方針は、設計変更の説明書の変更項目それぞれについて記載願います。方針には、以下の要素を盛り込んだ上で検証のストーリーを作成して下さい。
　１）性能評価時の構造計画に与える影響について
　・変更事項及びそれが躯体に与える影響について
　・変更事項に係わる影響の度合い及び全体架構に与える影響について（数値）
　・変更事項に対する検討手法について
　２）上記１）に対する構造安全性の検証方法について
　・必要に応じて性能評価用図書の抜粋を活用する等、分かり易い構成として下さい。また、適宜検証方法の考え方が確認できる図を追記して下さい。
　３）検証結果の評価について
　・検証結果は、計算結果のみでなく必ず結果に対する考察を伴う構成として下さい。特に、電算出力や応力図の添付のみは避けて下さい。
　・架構の応力分布が変わった場合は、応力図を添付して下さい。
　・部材断面に変更を生じた場合は、断面算定結果を添付して下さい。
　②検討内容
　検討内容は、検討結果の評価に至るまでの検証過程を詳細に示してください。検証過程の説明において必要な図面等は、適宜検討内容の中に挿入して下さい。また、応力図や電算出力を添付する場合は、凡例を示すと伴に、検証過程の対象となる部分を強調する等分かり易い工夫をお願いいたします。
５．図面（変更前・変更後）
　変更前図面及び変更後図面をご用意下さい。なお、どの箇所が変更の対象であるかを容易に判断できるよう、変更前の図面に変更部分を○印等で明記して下さい。その際、設計変更の説明書の番号も記載して下さい。

◇検討書の構成

※検討書はデジタルデータ（PDF）をご用意下さい。



①表紙



＜設計変更の説明書記載要領＞

①変更項目

・変更する該当範囲（階、通り）、部位（柱、梁等）、変更の内容（○○の追加、削除、変更等）を記載

②設計変更の内容

・具体的（定量的）な変更内容を記載

・設計変更前後の「説明図、構造図等の対比図面」を添付すること

・通し番号を付し、添付の「説明図、構造図等の対比図面」にも同番号を付すこと

③設計変更に対する検討内容及び結果の概要

・検討した内容の方針、結果、概要のみ記載

④大臣認定の状況

例）大臣認定未申請

大臣認定申請中

大臣認定取得済み→大臣認定番号・認定年月日を記載

③設計変更の説明書

設計変更の説明書(様式)

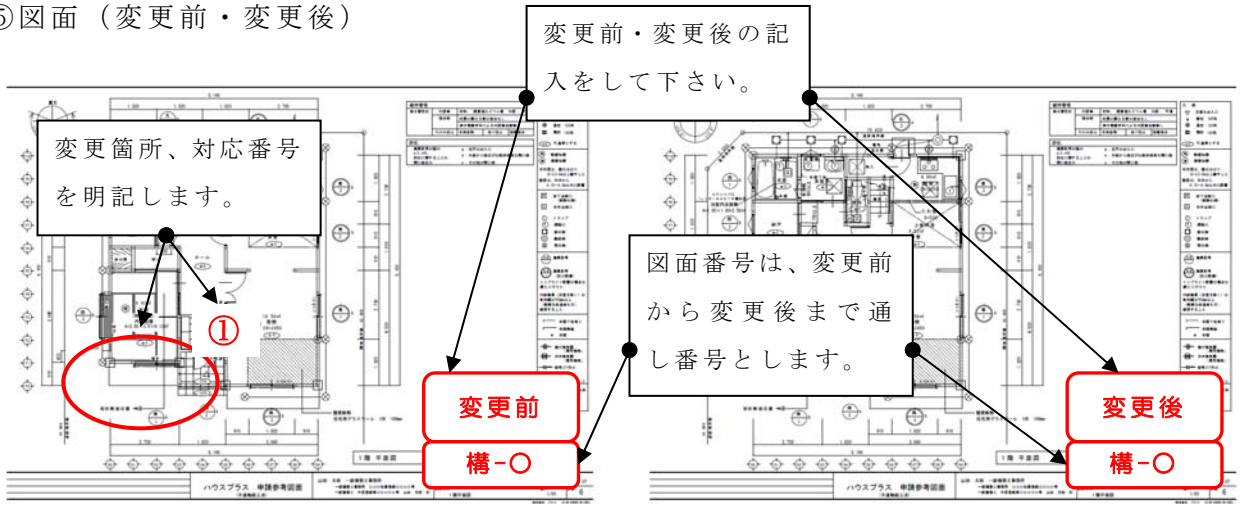
（別添）

設計変更の説明書

件　　名：○○○○新築工事
性能評価番号：HP評－××－××××
性能評価年月日：平成××年××月××日
大臣認定の状況：大臣認定取得済み　HNNN－××××　平成××年××月××日

変更項目	設計変更の内容	設計変更に対する検討内容及び結果の概要
B1階Y1通り基礎梁主筋の追加	X1～X5　FG1 端部下端筋 10-D32→12-D32 【構造図21～22】	・杭の施工偏心により生じる偏心モーメントを付加した基礎梁の断面検討を行なう ・応力の増加分について主筋の追加により補強を行なう

⑤図面（変更前・変更後）



設計変更の説明書（様式）

（別添）

設計変更の説明書

件　　名：○○○○新築工事
性能評価番号：HP 評－××－×××××
性能評価年月日：平成××年××月××日
大臣認定の状況：大臣認定取得済み　HNNN－×××　平成×年×月×日

変更項目	設計変更の内容	設計変更に対する検討内容及び結果の概要
① B1 階 Y1 通り 基礎梁 主筋の追加	X1～X5　FG1 端部下端筋 10-D32→12-D32 【構造図 21～22】	・杭の施工偏心により生じる編心モーメントを付加した基礎梁の断面検討を行なう ・応力の増加分について主筋の追加により補強を行なう

§７．構造計算書　作成要領

１．構造計算書申請図書

・以下の項目についてＡ４版で一冊にまとめて下さい。

ａ．表　紙（可能であれば背表紙にも同じものを記入して下さい。）

①委員会名、②件名、③資料名、④日付、⑤申請者名・設計者名（会社名）

ｂ．目　次（例として）

設計方針

建物概要　伏図、軸組図、断面図

設計フロー図

荷重

架構説明

応力算定、応力図

断面算定、検定比

下部構造、地下、基礎、杭

特殊な装置の設計、免震支承、オイルダンパー

その他　２次部材、擁壁

特記事項　設計一貫プログラム、使用プログラムの出力一式、
電算プログラムのチェックリスト
をご用意下さい

２．最終版構造計算書の提出

・評定部の審査が終わりましたら、以下の項目について最終版構造計算書のファイル綴じ１部を提出して下さい。内容を確認後、弊社で保管させて頂きます。

・図書の構成は以下の順番を参考にして下さい。

① 構造計算書（最新）

② 質疑回答書

③ 追加検討書

§８．最終版図書　作成要領

１．最終版図書の製本

・製本は、別紙に示す様式に従い金文字黒表紙製本としてください。なお、弊社に製本を依頼される場合は、実費と一冊当たりの事務手数料 2 千円を請求させていただきますのでご了承下さい。また、最終版図書の作成は、設計変更の申請についても同様とします。

２．最終版図書の装丁

・１冊にまとめたものとして下さい。厚さが 10cm を超えるような場合は、両面コピーを利用して下さい。

・Ａ４版見開き製本用として部数（必要部数+1 部）ご用意下さい。見開き製本の出来ない大きい図面（青焼きは避けて下さい）等は折り込んで下さい。

・表紙、中表紙、背表紙の文字のレイアウトは、別紙に示したとおりです。

３．最終版図書の内容

・最終版図書とは、委員会及び部会でご提出頂いた説明用図書全般で、指摘された事項等について変更、修正、差し替え等を行った最終の図書です。

・図書の構成は以下の順番を参考にして下さい。

- 中表紙
- パースまたは模型写真
- 大臣認定書
- 性能評価書
- 別添（HP-評第 6 号様式、構造説明図）
- 別表（HP-評第 7・8・9・10 号様式）
- 建築計画概要書
- 構造計画概要書
- その他（施工計画概要、特殊な材料及び装置の概要等）
- **設計変更の概要説明書（設計変更の申請時のみ）**
- 指摘事項回答書（委員会）
- 追加検討書（追加検討項目一覧表、追加検討資料）
- 訂正事項一覧（訂正事項一覧表）

大臣認定申請書類※1：大臣認定書～別表

性能評価用提出図書※2：建築計画概要書～設計変更の概要説明書

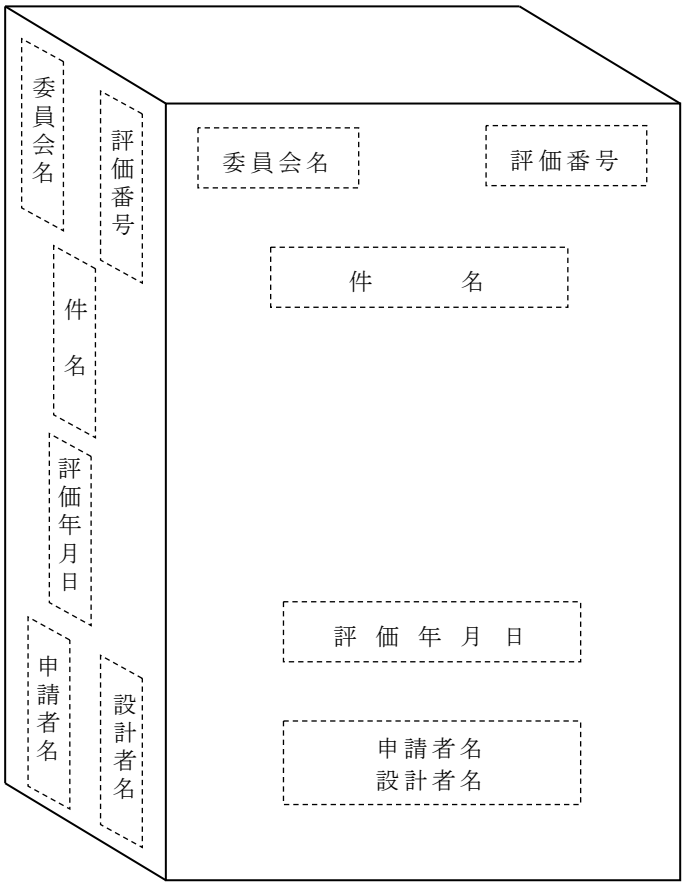
※１：大臣認定申請書類については、弊社より返却した副本（写し）を添付して下さい。

※２：性能評価用提出図書については、全て差し替え、訂正等終了したものとして下さい。

上記要領で、評定室宛にご提出下さい。評定部により内容確認を行った上で、１部に弊社印を押印し返却いたします。

なお、１部は当社保管用とさせていただきますのでご了承下さい。

※表紙、中表紙、背表紙の文字のレイアウト例



※製本は、黒表紙製本とする。

※文字は金文字とする。

※文字フォントは、全て MS 明朝とする。英数字は Century とする。

※文字サイズは、「件名」を 18pt とする。その他は 14pt とする。なお、紙面の都合上納まらない場合は適宜変更してもよい。